

# ポータブル光学式測定ソリューション 導入開始の時期かどうか？ チェックしてみましょう。

10の簡単な質問に答えると、御社のQC工程やQA工程を評価できます。

- 1  ボトルネック | 御社の製造工程の中で、CMMで困っている事はありますか？
- 2  CMMがオーバーロード状態になる | あらゆる種類の検査でCMMが集中し、対応しきれない時が定期的が発生し、生産性に影響していますか？
- 3  時間 | 初回品検査 (FAI) をCMMですべての部位を検査するには、時間がかかり過ぎる。
- 4  ダウンタイム | QA担当者は、生産ラインの分析や改善する時間を短縮したいと思う。
- 5  公差 | すべての部品 (厳しい寸法公差が求められる部品とそれほど重要でない部品のいずれについても) の寸法検査をCMMで実施していますか？
- 6  人材 | CMMのプログラミングができる経験豊富な資格を持つ人材が不足している。
- 7  部品サイズ | 製造現場から寸法検査ラボに移動させるのが困難な、大型部品を製造していますか？
- 8  材質 | 研磨加工アルミといった光沢材を使った部品を生産していますか？
- 9  複雑性 | くぼみ、深い凹部、自由曲面や自然形状などの複雑な部品を生産していますか？
- 10  コスト | 2台目のCMMを購入検討しているが、トレーニングやプログラミングの時間、購入費用、メンテナンスなどの費用がかさむため、導入に踏み切れない。

「はい」が7つ以上ある場合、是非、ポータブル光学測定ソリューションをご検討下さい。

まずは、生産性の問題の解決と、製造工程の最適化に取り組みましょう。

[次のステップに進む >](#)